

つづら



チャールズ会金沢会員

長村 寛次

機会があつて国内・外の旅に出れば楽しく、身も心も開放される。手頃なスケッチ用具を身につけ、出発！友があればより楽しい。目的地に向かう乗り物に身をゆだね、車窓の移りゆく風景等、眺めていると心が癒される。

田園と村落、遠くの山並み、また海、空と雲、漁村と船だまり、人と町並み、見るものすべてが面白い。その中でも、これだ！今がチャンスと早速スケッチを始め、即色を付ける。そして日付とサインを入れておく。後で手を加えな

いし、描き損じてもそのまま残しておく。

先日早朝のラジオ放送で、このようなことを耳にした。

「日本人はなぜシートを打たないのか？」最後の一人の選手がシートを打つという現実、プレッシャーの「量と質」は格別のはず。だから「守り」の意識が強くてこれを聞いていて、サッカーも絵と相通ずるんだと即実感した。此処がチャンスと何の躊躇もなく、即スケッチを始めるのと、どうしようかと、思っている間に、一生のチャンスは無く

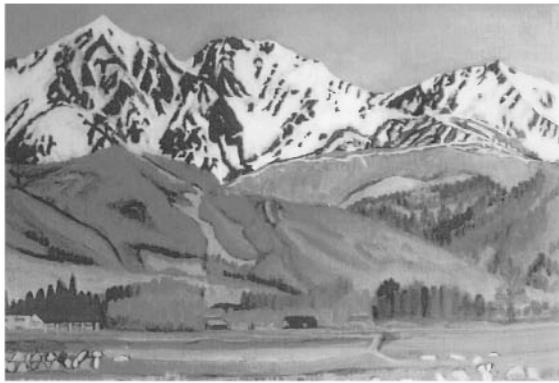


あるときあれを描いておけば良かった！は全くの無。そのうちに描こう、暇が出来たら描こう。うまい事は無い。根気がなくなる。体力が続かない。視力が無くなる。それより、年齢に関係なく、

余力のあるうちに絵を描いてみたいと、チョッピリでも考える方が居られたら、即今すぐ紙と鉛筆で描きたいものを描いて、色をつけてみませんか、楽しい人生が開けますよ。失敗したところで、次のベースになりますよ。

以前に小布施の北斎館を訪れたときに知った話だが、葛飾北斎の伝記によると「当時九十歳の翁、死に臨み、大息し天我をして十年の命を長ふせしめハといひ、暫くして更に謂て曰く、天我をして五年の命を保たしめハ、真正の画工となるを得へしと、言吃りて死す」と記されている。

(筆者は長村建築事務所代表取締役、金沢市在住)



短歌 天・地のもの

家に戻れば飯の支度くし老妻がいるまことしあわせこの当り前
神と鬼に挟まれ八十年生きのびて二神の区別わからなくなる
詠みそめて六十年は永し昏く寂しき歌多きなり我は闇の子か
私は人の子ですが昔々の初めの人は誰の子でしょうか
生きているから美しい汚れもする嘘とまことをちりばめながら
わが全て借りものむさばるよろこびも老いの歎きも天・地のもの

高井隼治

(能登町在住・歌人)

俳句 祈り

息白く鐘撞く人や宗祖の日
澄み渡る読経の声や寺の秋
法話今二河白道や秋彼岸
秋深む今のいのちを生きる我
初詣で世界平和を願いつ、
修正会終え唱和する恩徳讃
寒餅を掲げる厨に満つる湯気

東 夏雪

(金沢市・あらうみ同人)

編集後記

第28回世界連邦日本大会金沢2009がようやく終わった。その直後に開かれた東京での理事会の席上、金沢大会はいい形で運営されていたと好評だったと聞き、ほっと安堵した。役員や会員らがそれぞれの立場で出来ることを懸命に果たした結果だと思ふ。今号はその雰囲気や内容を限られた紙面の中で一杯お伝えしようと努めた。関係の皆さん、大変ご苦労さまでした。(S)

事務局日誌 (09)

- 7・10 事務局会議(石浦神社)
- 7・31 世界連邦宣言自治体全国協議会総会(ホテル日航金沢)
- 8・1 「世界連邦石川」第41号発行
- 8・1 中東和平プロジェクト市民交流会(石川県女性センター)
- 9・9 事務局会議(石浦神社)
- 9・12 執行理事会(東京) 平口理事長出席
- 9・26 第2回石川県連理理事会(アトリエ4階サロン)
- 10・21 執行理事会(東京) 平口理事長出席
- 11・1 第28回世界連邦日本大会事前PR街頭宣伝(香林坊)
- 11・11 5/24 ポスター・作文コンクール石川県内優秀作品展(香林坊アトリエ2階)
- 11・22 第28回世界連邦日本大会金沢2009(金沢市文化ホール)
- 12・8 09年度第3回執行理事会に金子事務局長出席(衆議院第2議員会館)
- 12・9 世界連邦運動の再生と改革を図る会議に平口理事長出席(東京)
- 2010年1・9 第28回世界連邦日本大会金沢2009実行委員会(香林坊東急ホテル)